



台湾台南市生まれ。

13歳からイギリスのY.メニューイン・スクールに学び、以後6年間にわたって同校から奨学金を得、世界的巨匠のユーディ・メニューイン卿、G. クレーメル、I.パールマン、S.ミンツ、P.ズッカーマン、ロストロポーヴィチ、アマデウス弦楽四重奏団、ピアノをV.ペルルミュテール、T.ニコラーエワ、内田光子、チェンバロをT.ピノック等の音楽家から親しく教えを受ける。メニューイン自身の推挙によってバッハの”2つヴァイオリンのための協奏曲”のソロをメニューイン卿と度々共演。

1991年、全額支給の奨学金を得てロンドン王立音楽院に入学、1994年にフランスに移り、パリ音楽院、マルメゾン音楽院に学ぶ。デヴィ・エルリー、H.デア、A.ゲルペリン、G.コモンタルに師事。

1998年、ピエール・ロンティエ国際コンクール第一位。マルメゾン音楽院での実技試験では3年連続の満場一致、総合第一位（プルミエ・プリ）を得、最終年度はトニー・オーバン賞を受賞。

2001年5月、スイス・ジュネーヴでのWHO世界保健機構世界大会で、台湾の文化展示としてソロ・リサイタル開催。

その後台湾に帰国、台湾、日本で度々のリサイタル開催。オーケストラとの協奏曲共演、また各オーケストラの招待コンサートマスターとして活発に演奏活動を行う。

2014年7月、フランス・メザンでの音楽アカデミーに講師・ソリストとして招かれ、Ladepêche.fr紙に「最高級の才能」と絶賛される。

故・江村哲二氏はスーランのためにヴァイオリン独奏曲「そして、あるいは歌をこえて」を作曲、献呈されている。

台湾の公共テレビ台製作のクラシック音楽紹介番組「古典魔力客」ではゲスト解説をつとめ、奇美管弦楽団コンサートマスターとしてのDVDは五枚が発売、中華航空のプロモーション映像に使用されている。

(ユーチューブ・チャンネル)

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLrmI36pmKLDwMzeMdcYNaRXOAnIeoLRQc>